

<銘楽堂演奏家支援制度 令和5年度募集要項>

概要

支援事業の一環として、プロとして活動する若手演奏家を支援する制度です。

支援内容

- ・支給金額…月額 10 万円(返済不要)
- ・銘楽堂公演への出演(出演料別途支給)
- ・期間…最長3年(1年ごとに活動報告書の提出義務あり。また支援継続の場合は更新審査あり)
 - * 本人以外の人の生活費などに使用することはできません。
 - * 当支援金は課税の対象となりますことをご了承ください。

対象と応募条件 (以下のすべての条件を満たしている方)

- ・ジャンルはクラシック音楽に限定とする。
- ・将来有望な才能を有し、演奏家としての活躍を期待できる方。
- ・日本在住の方。(国籍不問)
- ・国内外の音楽大学もしくは大学院の卒業経歴のある方。「音楽大学」の定義は審査員が「音楽大学である」と認める音楽教育機関とする。(在学中の応募は不可)
- ・応募時に他の給付型支援を受けていない方。(過去に受けたものに関しては不問)
- ・過去に当支援制度の対象者となられた方の応募は不可。
- ・反社会的勢力(暴力団、暴力団関係企業もしくはこれらに準ずる者又はその構成員)と関わりがないこと。

年齢制限

施行開始日2023年4月1日の時点で23歳以上、30歳未満であること。

専門分野

- ・器楽(ピアノ・弦楽器・管楽器)専攻者。
- ・3名～4名の室内楽編成可。(声楽を除く)

支援人数

- ・若干名の新規採用を予定。

課題曲(収録制限時間 20分以内)

- ・ピアノ=自由曲2曲。同一作曲家ではない、性格の異なる曲。(ソナタの第一楽章を1曲とみなしてもよい)

- ・管弦楽器＝任意の協奏曲の第一楽章(カデンツァを含む)
- ・室内楽編成＝任意の室内楽曲の第一楽章

応募方法

・YouTube に課題曲を「限定公開」でアップロードし、URL を所定の応募フォームに入力して送信してください。 →[動画の撮影に当たっての注意点参照](#)

応募期間

2023年 1月 4日(水)10:00 ～ 2023年 1月 11日(水)23:59まで(必着)

審査結果の通知

可否に関わらず2023年 1月 20日(金)23:59までにメールにて通知します。

連絡がない場合は、1月 23日(月)10:00以降にお問い合わせください。

1月 23日(月)以前の問い合わせ、及び可否の理由などに関するお問い合わせにはお答えできません。

第二次審査

動画審査合格者対象に、銘楽堂での実技審査及び面接を行います。時期は2023年1月下旬～2月初旬を予定。第二次審査の可否は2023年2月中旬までに発表いたします。

追加審査における留意点

- ・演奏曲目は提出した資料と同一曲を演奏。
- ・伴奏が必要な場合は各自同伴すること。
- ・諸経費は各自負担のこと。

動画の撮影に当たっての注意点

1. You Tube に限定公開でアップロードし、URL を所定の応募フォームに入力して提出すること。
2. 未編集のものとする。映像と音声は同時に収録すること。演奏中の手の動きと音が一致していないと判断された場合は、審査の対象外とされる場合がある
3. ビデオカメラに音声ボリュームを自動的に調節する機能が付いている場合は、演奏の抑揚が無くなるため、使用しないこと。音量が極端に小さく(もしくは大きく)かったり、雑音が入ったりしてはならない。

4. 演奏前後のお辞儀などは映像に含めない。服装等は自由とする。

5. 演奏動画の制作、応募に関する費用一切は、応募者自身の負担とする。

6. <専攻楽器がピアノの方>

・使用するピアノはグランドピアノもしくはアップライトピアノとする。電子ピアノの使用は認めない。

・演奏者の顔と手が常に明確に映る角度で、演奏者の右側からカメラマンのアングルを固定して撮影すること。

7. <専攻楽器が弦楽器の方>

・演奏者の顔と手元、弓を含む楽器全体が常に明確に映る角度で、カメラのアングルを固定して撮影すること。

8. <専攻楽器が管楽器の方>

・演奏者の顔と手元、楽器全体が常に明確に映る角度で、カメラのアングルを固定して撮影すること。

9. <室内楽編成の方>

・全ての演奏者が常に明確に映る角度で、カメラのアングルを固定して撮影すること。

《参考》YouTubeヘルプより

[アカウント作成](#) ※アップロードには Google アカウントが必要です

[動画のアップロード](#)